

R8年度よりJRR-3**実験者全員**にアカウント登録をしていただきます。

来所に関する申請、安全保安教育、個人線量計の指定登録をRingシステムから行います。

## JRR-3 Ringでの流れ

- 【1】 マシントイム申請
- 【2】 役務提供、技術指導及び消耗機材等申込書（技術提供が必要な場合のみ）
- 【3】 来所申請
- 【4】 研究協力者変更届出書（研究協力者に変更があった場合のみ）
- 【5】 安全保安教育の受講
- 【6】 指定登録依頼書申請

### JRR-3 Ring JRR-3施設 研究支援 Webサイト

アカウント   
パスワード

#### ① JRR-3保安教育統合に伴うログインアカウント確認のお願い

2026年度より、実験前に受講する保安教育e-learningがJRR-3 RING内に一元化されます。これに伴い、アカウント名が異なる方や複数アカウントを利用していた方については整理を行いました。

該当する可能性のある方は、JRR-3 RINGおよびNSL RING（両方利用の方は両方）にログインできるかご確認をお願いいたします。ログインの際、問題が生じた場合は以下へご連絡ください。

JRR-3 RING ユーザー： [jrr3ring@jaea.go.jp](mailto:jrr3ring@jaea.go.jp)  
NSL RING ユーザー： [nsl-use@issp.u-tokyo.ac.jp](mailto:nsl-use@issp.u-tokyo.ac.jp)

#### 【注意】

- ・両RINGは同じアカウント名・パスワードで利用できます。
- ・新たに利用する場合も既存アカウントを使用してください。
- ・所属変更時は新規作成せず、ユーザ情報を更新して継続利用してください。

#### ② 随時課題募集のお知らせ

2025年度JRR-3 随時課題を募集しています。

#### ③ ユーザ登録がお済でない方

JRR-3 RINGを利用するにはアカウント登録が必要です  
[新規アカウント登録](#)

#### ④ パスワードを忘れた方

パスワードの再設定を行ってください  
[パスワード再設定](#)

▶ アカウントをお持ちの方はアカウント/パスワードを入力し「[ログイン](#)」をしてください。

▶ はじめての方はJRR-3 Ringより「[ユーザ新規登録](#)」をしてください。

#### ユーザ新規登録

JRR-3 RINGシステムを利用するためのアカウントを新規作成します。このページではアカウントとメールアドレスを入力してください。入力されたメールアドレス宛に、ユーザ情報入力ページへのURLを送信します。ユーザ情報の入力によりJRR-3 RINGシステムのアカウントを登録が完了します。

アカウント  必須  
メールアドレス  必須  
 メールの送信

- アカウントは、半角英数字で登録してください。
- アカウントおよびメールアドレスは、既に登録されているものは利用できません。
- 入力したメールアドレスが登録済みの場合、JRR-3 RINGシステムのアカウントが既に登録済みの可能性があります。登録済みアカウントでログインを試みてください。
- 登録済みアカウントのアカウント名やパスワードが不明の場合は、[パスワード再設定](#)をお試しください。

# マシンタイム申請

▶マシンタイム申請を行ってください。

RING JRR-3 Research Information Newsletter

Home 申請 ▲ 利用成果 ▼ 安全保安 ▼

- 実験課題申請(ビーム)
- 随時実験課題申請(ビーム)
- 照射課題申請(炉内照射)
- 随時照射課題申請(炉内照射)
- マシンタイム申請**
- 照射申請
- 実験室使用申請
- 来所申請
- 指定登録依頼書 提出
- 利用課題実施報告書 提出
- 成果公表連絡票 提出

実験内容

実験装置 必須

実験概要 必須

アクセサリ

試料名称 必須

試料重量 必須 0 試料状態

装置使用経験 必須 無し 有り 試料使用経験 必須 無し 有り

核燃料物質 必須 不使用 使用

試料の危険性 必須 無し 有り 終了時の試料 必須

安全評価 必須 安全

持込機材 必須 無し 有り

毒物・劇物 必須 不使用 使用

個人線量計の借用 必須 不要 必要 役務提供及び技術指導 必須 不要 希望

別添資料 必須 無し 有り

緊急連絡先1 必須 姓 名 電話番号

緊急連絡先2 姓 名 電話番号

※緊急連絡先は、緊急時に連絡が取れる研究代表者等の個人の電話番号を入力してください。(携帯電話を推奨します)

- 注1) 役務提供及び技術指導等を希望する場合は、必ず本様式1を施設採用申込書に添付の上申込みください。
- 注2) 本様式1を記入する際は、施設側担当者との協議の上内諾を得た内容を緑色部分に記載してください。
- 注3) 申込みする際は、1頁目から3頁目までを印刷のうえ3枚1組として申込みください。また、「E-mail: [rankai.shisetu@jrra.go.jp](mailto:rankai.shisetu@jrra.go.jp)」までお送りください。

「様式1」

役務提供、技術指導及び消耗機材等申込書 (1ページ目)

(※1ページ目の緑色部分を御記入の上申し込みください。)

の施設採用に関し、施設側担当者と協議した結果、以下の操作・運転役務提供及び技術指導等について内諾を得たので申込みします。

受付番号 (機構記入欄)

課題番号 (課題番号が原子力機構より付与されている場合)

1 装置等の操作・運転等の役務提供

2 装置等の操作・運転等の方法、実験試料等の作成方法、実験データ等の解析方法等に関する技術指

3 消耗機材・オプション装置の利用・その他

4 施設側担当者 研究所 部 氏名 電話

① 役務提供及び技術指導を希望とされた方は  
《[役務提供、技術指導及び消耗機材等申込書](#)》  
をご提出ください。

記載内容は使用する装置担当者へご確認  
いただき、内諾を得た内容を1ページ目の  
緑色部分にご入力ください。  
※実験日1週間前までに装置担当者へ  
ご提出ください。

# 来所申請

▶ マシントime申請後、来所申請を行ってください。

③ 研究協力者変更届出書

令和 8年 4月 1日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
研究開発推進部 研究推進課長 殿

所 属 ○○大学  
研究代表者 ○○ ○○  
課 題 番 号 2026A-AOO

研究協力者に変更があったので、次のとおり届け出ます。

追加	除外	フリガナ氏名	所 属	職 位	e-mail
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	●●●● ●● ○○ ○○	○○大学	学生 (M2)	**@***.jp
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	●●●● ●● ○○ ○○	株式会社○○	研究員	**@***.jp
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

変更の理由

理由を必ず記入してください

(様式第 4 版)

① 緊急時連絡をとる場合のため、  
大学・会社の代表番号ではなく  
各個人の携帯番号を記載のこと。

② 車両No.記載例

マイカーの場合：

水戸○○あ○○○

レンタカーの場合：

レンタカー

ステッカーを所持している場合：

ステッカー有

③ 課題申請時に登録のない方が実験に参加  
される際は << 研究協力者変更届出書 >> を  
ご提出ください。

提出先：[renkei.shisetsu@jaea.go.jp](mailto:renkei.shisetsu@jaea.go.jp)

# 来所申請

## ▶ 宿泊申込

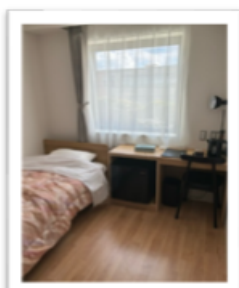
宿泊希望者にはTokai Mirai Baseを予約いたします。

満室の場合は、各自他の施設のご予約をお願いいたします。

## JAEA Tokai Mirai Base 施設概要



- 3 客室301～321  
多目的研修室
- 2 客室201～233  
共用キッチン  
祈祷室
- 1 客室101～112  
茶室  
レストラン  
2F-4Fがスペース  
JAEAササガビル



客室 (シングル)



客室 (ツイン)



レストラン



ランドリー

宿泊料金	学生 1,200円/泊 一般 5,300円/泊		
支払方法	原則チェックイン時に、現地にてお支払いをお願いします。 現金、クレジットカード(JCB/VISA)、電子マネー(iD/交通系決済/nanaco/Edy/QRコード)での支払いが可能です。		
チェックイン	17時から21時まで(※) ※チェックインが21時を過ぎる場合は、直接フロントまでご連絡ください。 <b>※土日は無人フロントです。</b>		
	連絡先 茨城県那珂郡東海村舟石川駅東三丁目7番25号 029-219-5708 (フロント)		
チェックアウト	10時まで		
食事	種別	利用時間	料金
	朝食	7時半～9時	480円
	昼食	11時～13時半	
	夕食	17時半～21時	
	※昼食/夕食は利用の都度券売機で食券を購入のうえご利用ください。		
部屋の設備	ベット、クローゼット、エアコン、机・椅子、テーブルランプ、シャワールーム、洗面台、トイレ、 小型冷蔵庫、外皿、マグカップ、グラス、ドライヤー、スリッパ、ハンガー、Wi-Fi 完備 (有線LANなし)、タオルを設置しています。 <b>▶ 短期利用者にはアメニティを設置しております。</b> (シャンプー、リンス、ボティソープ、ボティタオル、歯ブラシ) 長期利用者の場合は必要に応じてフロントにて購入ください。 ※浴衣等の寝具の用意/貸出はありませんので各自でご用意ください。		
供用の設備	自動販売機(各階)、コピー機(各階)、共用キッチン(2F)、PrayerRoom(祈祷室:2F)、喫煙スペース(レストラン隣駐輪場付近)、自転車(20台※) コーキングスペースは宿泊者及び関係者が利用することができ、フリーWi-Fiも完備しています。 ※貸出を希望される場合は直接フロントまでお申し出ください。		

# 安全保安教育（実験日の1ヶ月前から受講可能）

▶個人線量計を貸与するにあたり、年度初めの実験前に安全保安教育を受講していただきます。



## 保安教育

### JRR-3 保安教育

JRR-3でその年度初めて実験を行う前に、来所前保安教育を受講する必要があります。  
下記のリンクの、保安教育コースのリンクにて受講してください。

※ 保安教育受講の有効期間は「3/1～翌年2/末日」の受講により「4/1～翌年3/末日」の期間となります。

#### ※ 借用利用装置担当者の方へ

本保安教育を受講する代わりに、JAEAが定期的に開催する「装置担当者向け保安教育」を、1年に1回受講していただきます。  
ここでは「受講済」と表示されますが、共同利用事務からの開催日程に関する指示に従って、受講をお願いします。

#### ※ JAEA職員の方

JAEA職員の方につきましては、原子炉施設保安規定で定められた教育内容を受講しなければならないため、  
本e-learningは受講できません。  
JRR-3 ringまたはNSL ringを通じて既に今年度内に受講された方は、JRR-3ユーザーズオフィスまたは  
東大物性研事務までその旨をお伝え下さい。

[JRR-3 保安教育 コース受講 \(2026\)](#)

受講状況:

### JRR-3 保安教育コース

コース受講状況

未受講

Lesson

- ① 保安教育コースについて
- 施設安全保安教育
- 原科研究労働災害等
- 安全作業ハンドブック
- 過去のトラブル事故事例
- 理解度確認テスト
- ご意見、ご感想

② [NSL-RINGへ戻る](#)

① 保安教育コースについてを熟読してください。

理解度確認テストは選択問題形式です。  
満点を取るまで終了になりません。

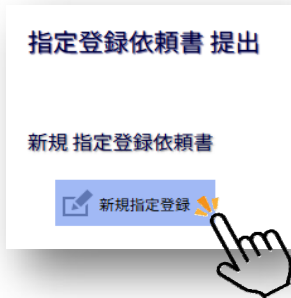
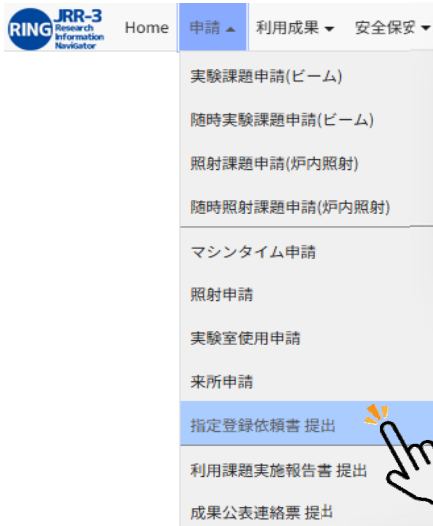


② 保安教育終了後は

JRR-3ユーザーはログアウト  
物性研ユーザーは②からNSL-RINGへ  
お戻りください。

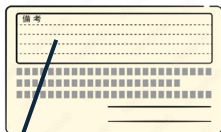
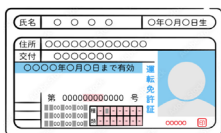
※ 動画のデータ容量が大きいため、  
回線の速さとセキュリティソフトの  
設定によって視聴状況は異なります。  
ご了承ください。

# 指定登録依頼書 (実験日の2週間前までにアップロード)



- ▶ 必須項目には必ずご入力ください。
- ▶ 提出書類 (アップロードしてください)
  - ・放射線同位元素等規制法関係教育 受講の写し
  - ・電離放射線健康診断 診断書の写し
  - ・公的身分証明書の写し
 (運転免許証、マイナンバーカード、パスポート) の写し

② 3日以上の実験者は  
顔写真付き入構証を発行する  
ため顔写真をアップロードする



③ 裏面に記載がある時のみアップロードする  
(本人確認書類として使用いたします)

① 被ばく評価を行った回数

## ④ <電離放射線健康診断> 受診結果の写し

受診日が原則実験初日より6か月以内 (学生: 1年以内)

- ▶ 被ばく歴の有無
- ▶ 白血球数及び白血球百分率の検査
- ▶ 赤血球数の検査及び色素量又はヘマトクリット値の検査
- ▶ 白内障に関する眼の検査
- ▶ 皮膚の検査

※指定登録が継続中の場合は、半年毎の健診結果(写し)を提出していただきます。

## ⑤ <放射性同位元素等規制法関係教育> 受講の写し

指定登録前に以下の教育を受講いただいている必要があります

- ▶ 放射線の人体に与える影響
- ▶ 放射性同位元素又は放射線発生装置の安全取扱い
- ▶ 放射線障害の防放射線同位元素等規制法関係教育止に関する法令及び放射線障害予防規定

※受講日、受講項目のわかる受講証又はオンライン教育のスクリーンショットなど様式は問いません。

# 指定登録依頼書

- ▶ 証明者印は内容確認するまで押印をお待ちください。
- ▶ 来所時、押印された被ばく歴等証明書をUOへご提出ください。

年 月 日

## 被ばく歴等証明書

証明者には  
放射線主任者または所属長(教授,上司)の  
押印をお願いいたします

証明者所属

証明者氏名

印

下記の者の個人識別項目、被ばく前歴、指定緊急作業歴、教育訓練及び特殊健康診断の記録を証明します。

個人識別項目									
フリガナ		生年月日 年 月 日							
氏名		性別 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		国籍区分 <input type="checkbox"/> 日本人 <input type="checkbox"/> 外国人					
被ばく前歴 <sup>注1)</sup> (該当無しは空白)									
昭和63年度まで 集積線量 (職員等のみ記入)	平成元年度以降 実効線量 (職員等のみ記入)	前年度までの過去4年間の線量			今年度の集計		今四半期の集計 (女子のみ)		
		年度	実効線量	水晶体	実効線量	mSv ( X )	mSv		
昭和 年度～ 昭和63年度まで	年度 ～ 前年度	年	mSv	mSv	実効線量	( X )	mSv	妊娠中の女子は 妊娠からの被ばく 歴を別添で提出す る。	
集積線量  mrem ( X )	実効線量の合計  mSv ( X )	年	mSv	mSv	皮膚	mSv	別添 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		年	mSv	mSv	水晶体	mSv			
		年	mSv	mSv	その他 ( )	mSv			
主な作業 事業所		主な作業 種類記号 <sup>注2)</sup>							
教育訓練歴					特殊健康診断歴				
放射性同位元素等規制法関係教育 <sup>注3)</sup> 実施年月日 年 月 日 <input type="checkbox"/> 放射線の人体に与える影響 <input type="checkbox"/> 放射線同位元素又は放射線発生装置の安全取扱 <input type="checkbox"/> 放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規定					実施年月日 <sup>注5)</sup> 西暦 年 月 日 <input type="checkbox"/> 従事可 <input type="checkbox"/> 従事不可				
特別教育 <sup>注4)</sup> 実施年月日 年 月 日					指定緊急作業歴 <sup>注6)</sup> <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
注 1) 今年度とは、指定登録日の属する年度、前年度はその年度の前年度とする(今四半期も同様)。					上記被ばく 前歴の内緊 急作業に伴 う実効線量		単位:ミリシーベルト 年度 ( X ) 年度 ( X ) 年度 ( X )		
注 2) 下記の作業種類記号より選択して記号を記載すること。									
注 3) 放射性同位元素等規制法関係の教育は、前回の教育訓練を行った日の属する年度の翌年度の開始の日から1年以内実施した項目がある場合のみ記載すること。									
注 4) 原子炉施設又は核燃料使用施設等の管理区域において、核燃料物質等を取り扱う業務に従事する者で労働安全衛生法の適用を受ける者は、労働安全衛生法第59条第3項の特別教育の実施日を記載すること。									
注 5) 労働安全衛生法の適用を受ける者は指定日まで6月以内、それ以外の者は1年以内実施した特殊健康診断の結果を記載すること。									
注 6) 指定緊急作業とは、平成23年3月11日以後の東電福島第一原子力発電所における緊急作業をいう。									
作業 種類 記号	A 研究・開発	F RI等の分析、検査	K 施設等の建設、工事、解 P 機器等の製造、管理						
	B 原子炉等の運転	G RI等の輸送	L 管理区域の清掃 Q 物品等の管理						
	C 原子炉等の保守	H RI等の保管、管理	M 管理区域の除染 R 施設等の査察、視察						
	D 一般機械等の運転	I 放射線管理、安全管理	N 原子炉、RI等の教育						
	E RI等の製造、加工	J 構内保安管理	O 健康診断、医療						